



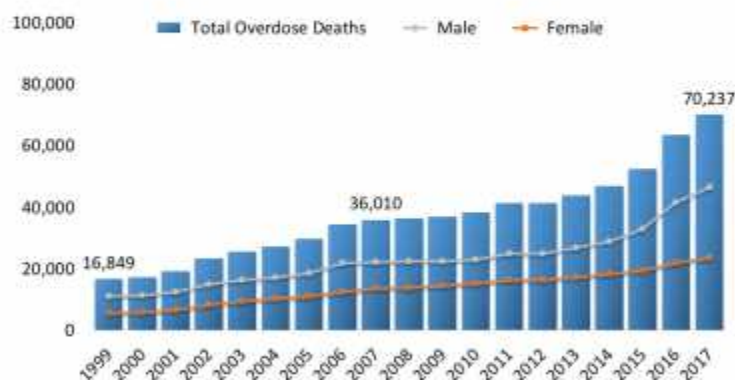
[ホーム](#) » [関連トピック](#) » [傾向と統計](#) » [過量死亡率](#)

過量死亡率

2019年1月改訂

米国政府はすべての薬の死亡率を追跡していません。しかし、[国立健康統計センターの疾病管理予防センター](#)は、より一般的に使用される薬剤の多くの情報を収集します。CDCには、[CDC Wonder](#)という検索可能なデータベースもあります。

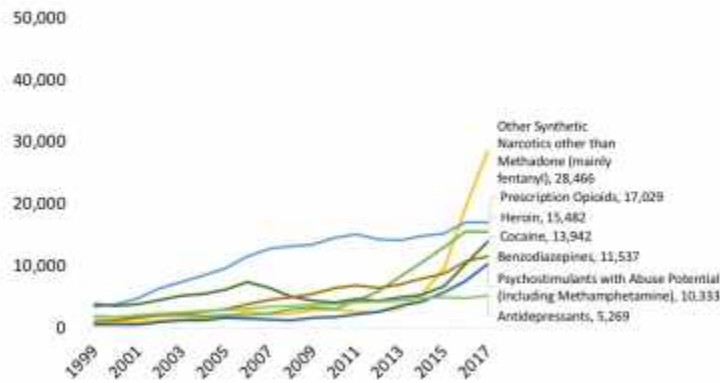
Figure 1. National Drug Overdose Deaths
Number Among All Ages, by Gender, 1999-2017



Source: Centers for Disease Control and Prevention, National Center for Health Statistics, Multiple Cause of Death, 1999-2017 on CDC WONDER Online Database, released December, 2018

図1.全国薬物過剰摂取による死亡 - 男女別の1999～2017年の全年齢の中での数。2017年には、違法薬物や処方オピオイドを含む70,200人以上のアメリカ人が薬物の過剰摂取で死亡し、これは10年間で2倍に増加しました。上の図は、1999年から2017年までの全薬物に関連する米国の過剰摂取による死亡の総数を示す棒グラフです。薬物の過剰摂取による死亡は、1999年の16,849から2017年には70,237まで増加しました。1999年から2017年までの性別（出典：CDC WONDER）

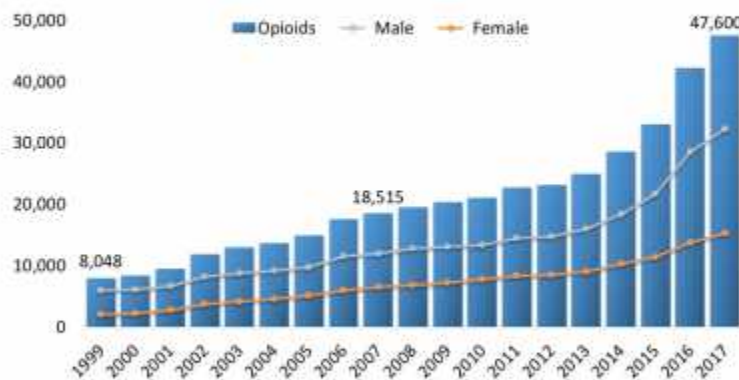
Figure 2. National Drug Overdose Deaths
Number Among All Ages, 1999-2017



Source: Centers for Disease Control and Prevention, National Center for Health Statistics, Multiple Cause of Death, 1999-2017 on CDC WONDER Online Database, released December, 2018.

図2.全国薬物過剰摂取による死亡数 - 1999年から2017年までの全年齢数
2017年に推定された70,200を超える薬物の過剰摂取による死亡のうち、最も急激な増加は、フェンタニルおよびフェンタニル類似体（他の合成麻薬）に関連した死亡の間で発生し、28,400を超える過剰摂取による死亡。
出典：CDCワンダー

Figure 3. National Drug Overdose Deaths Involving Any Opioid,
Number Among All Ages, by Gender, 1999-2017



Source: Centers for Disease Control and Prevention, National Center for Health Statistics, Multiple Cause of Death, 1999-2017 on CDC WONDER Online Database, released December, 2018.

図3.オピオイドが関与する全国的な過剰摂取による死亡 - 男女別、1999～2017年。上の図は、1999年から2017年までのオピオイドを含む米国の過剰摂取による死亡の総数を示す棒グラフです。オピオイドには、処方オピオイド（およびメタドン）、ヘロイン、その他の合成麻薬（主にフェンタニル）が含まれます。1999年から2017年の薬物過剰摂取による死亡数は、1999年の8,048人から2017年の47,600人まで増加しました。棒グラフの上には、性別別の死亡者数が示されています。（出典：CDC WONDER）。♂

Figure 4. National Drug Overdose Deaths Involving Prescription Opioids, Number Among All Ages, 1999-2017

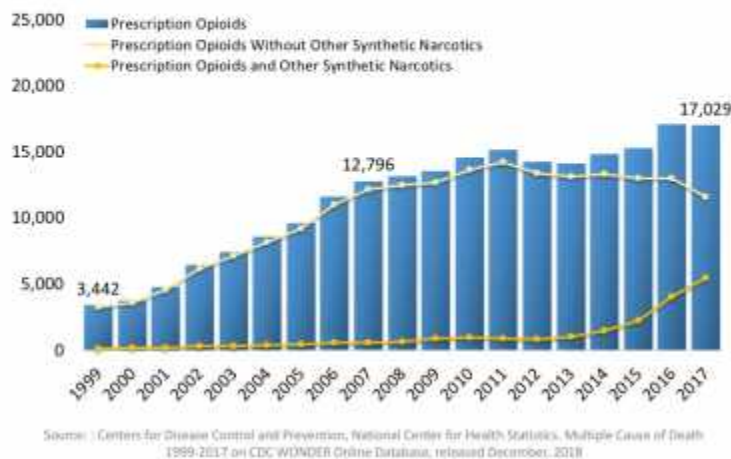


図4.処方オピオイドを含む全国的な過剰摂取による死亡 - 1999 - 2017年の全年齢の中での数。上の図は、1999年から2017年までの処方オピオイド（メタドンを含む）に関連する米国の過剰摂取による死亡の合計を示す棒グラフです。1999年の3,442から2017年には17,029まで増加しました。死亡者数は安定しています。棒は他の合成麻薬（主にフェンタニル）と組み合わせて、そして1999年から2017年までの他の合成麻薬を伴わないで処方オピオイドを含む死亡数を示す線によって重ねられている。

Figure 5. National Drug Overdose Deaths Involving Heroin Number Among All Ages, 1999-2017

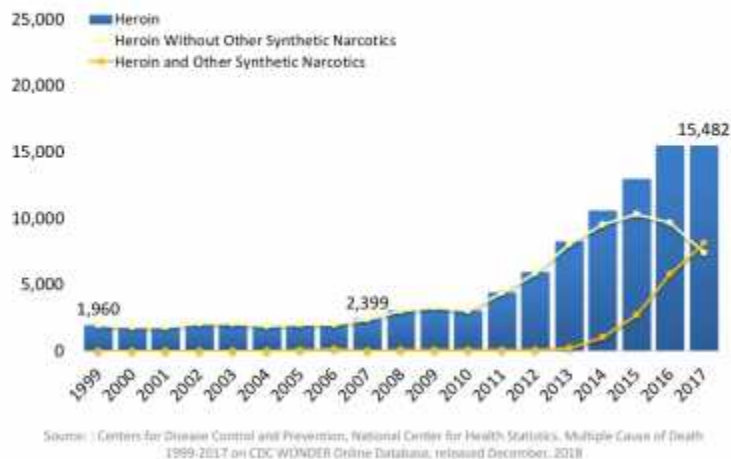


図5.ヘロインを含む全国的な過剰摂取による死亡 - 1999 - 2017年の全年齢の中での数。上の図は、1999年から2017年までのヘロインに関連する米国の過剰摂取による死亡の総数を示す棒グラフです。ヘロインに関連する薬物の過剰摂取による死亡は、1999年の1,960から2017年には15,482まで増加しました。ヘロインを他の合成麻薬（主にフェンタニル）と組み合わせて、および他の合成麻薬を含まずに1999年から2017年まで服用している。合成麻薬と組み合わせてヘロインを使用した死亡者数は2014年以來着実に増加している。フェンタニルの使用による（出典：CDC WONDER）。

Figure 6. National Drug Overdose Deaths Involving Psychostimulants With Abuse Potential (Including Methamphetamine), by Opioid Involvement
Number Among All Ages, 1999-2017

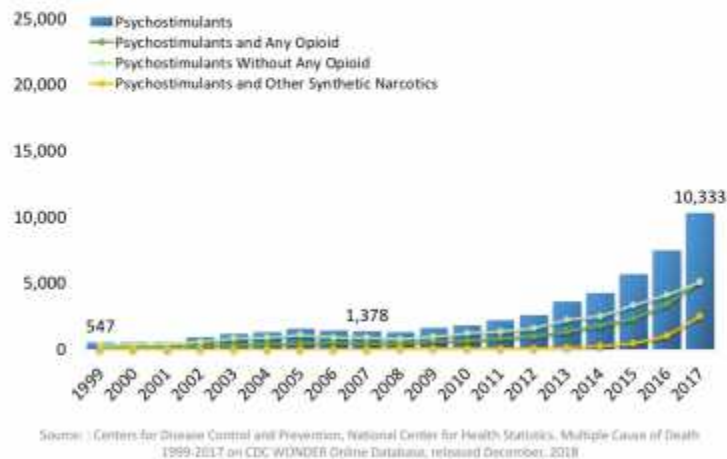


図6オピオイドの関与による、乱用の可能性のある覚せい剤（メタンフェタミンを含む）を含む全国薬物の過剰摂取による死亡数、全年齢の中での数、1999年 - 2017年。上の図は、1999年から2017年までの精神刺激薬に関連する米国の過剰摂取による死亡の総数を示す棒グラフです。薬物の過剰摂取による死亡は、1999年の547から2017年には10,333まで増加しました。オピオイド、オピオイドを含まない精神刺激薬、および精神刺激薬およびその他の合成麻薬。精神刺激薬とオピオイドの併用による死亡者数は2014年から着実に増えており、主に他の合成麻薬の関与によって引き起こされています。しかしながら、

Figure 7. National Drug Overdose Deaths Involving Cocaine, by Opioid Involvement
Number Among All Ages, 1999-2017

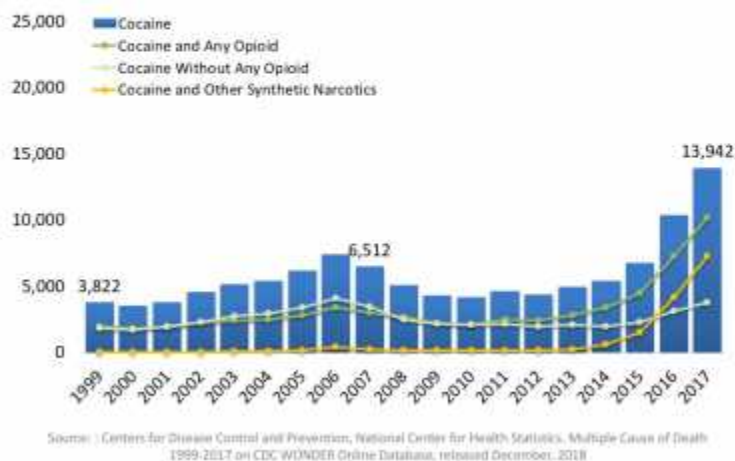


図7。オピオイドの関与によるコカインを含む国民薬物の過剰摂取の死 - すべての年齢層の間での数、1999-2017年。上の図は、1999年から2017年までのコカインに関連する米国の過剰摂取による死亡の総数を示す棒グラフです。コカインに関連する薬物の過剰摂取による死亡は、1999年の3,822から2017年には13,942まで増加しました。コカインとオピオイド、オピオイドを含まないコカイン、およびコカインと他の合成麻薬を含む。2014年以降、オピオイドとの併用による死亡者数は着実に増加しており、主に他の合成麻薬と併用したコカインによる死亡によって引き起こされています（出典：CDC WONDER）。

Figure 8. National Drug Overdose Deaths Involving Benzodiazepines, by Opioid Involvement, Number Among All Ages, 1999-2017

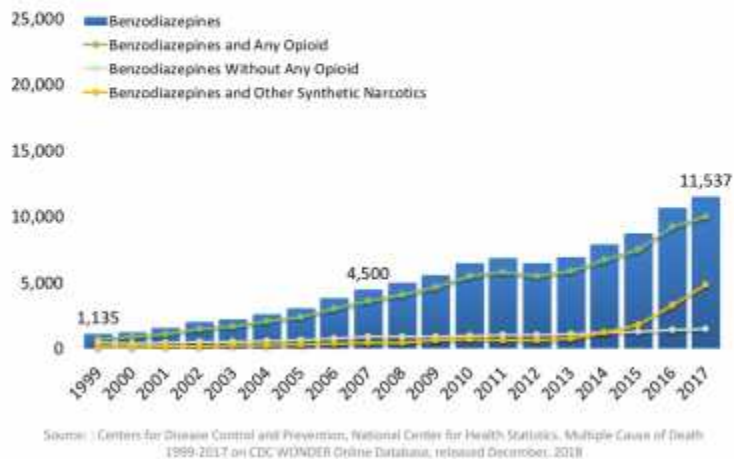


図8. オピオイドの関与によるベンゾジアゼピンを含む全国薬物の過剰摂取による死亡 - 1999 - 2017年の全年齢の中での数。上の図は、1999年から2017年までのベンゾジアゼピンに関連する米国の過剰摂取による死亡の総数を示す棒グラフです。ベンゾジアゼピンに関連する薬物の過剰摂取による死亡は、1999年の1,135から2017年には11,537まで増加しました。ベンゾジアゼピンとオピオイド、ベンゾジアゼピンとオピオイドの併用、ベンゾジアゼピンと他の合成麻薬。ベンゾジアゼピンを他の合成麻薬と組み合わせて使用した場合の死亡者数は2014年以来着実に増加していますが、ベンゾジアゼピンを含まないオピオイドを使用した死亡者数は安定しています（出典：CDC WONDER）。

Figure 9. National Drug Overdose Deaths Involving Antidepressants, by Opioid Involvement, Number Among All Ages, 1999-2017

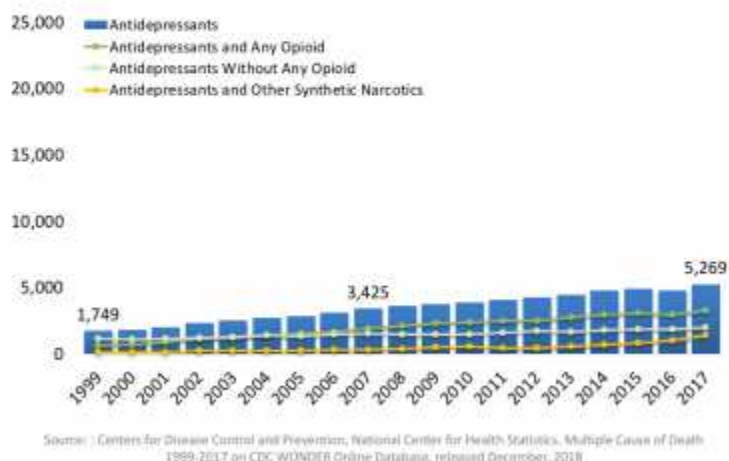


図9. オピオイドの関与による抗うつ剤を含む国民薬物の過剰摂取の死 - すべての年齢層の間で1999 - 2017年。上の図は、1999年から2017年までの抗うつ薬を含む米国の過剰摂取による死亡の総数を示す棒グラフです。抗うつ薬を含む薬物の過剰摂取による死亡は、1999年の1,749から2017年には5,269まで増加しました。抗うつ薬とオピオイド、オピオイドを含まない抗うつ薬、および抗うつ薬と他の合成麻薬を含む。抗うつ薬と他の合成麻薬の併用による死亡者数は2014年以降着実に増加していますが、オピオイドを含まない抗うつ薬を使用した死亡者数は安定しています（出典：CDC WONDER）。

上の図は、1999年から2017年までの間に選択された処方薬と違法薬物を含む米国の過剰摂取による死亡または死亡の割合を示す棒グラフです。棒は、性別またはオピオイドの関与を表す線で覆われています。2017年に米国で発生した薬物過剰摂取による死亡数は70,237人であり（図1）、男性の66%が症例となっています（灰色の線）。薬物の過剰摂取による死亡の主な要因は、オピオイド - 主に合成オピオイド（メタドン以外） - で、2007年から2017年にかけて12.9倍に増加しました（図2）。

2007年の18,515人の死亡から2017年の47,600人の死亡まで、オピオイド - 処方オピオイド（メタドンを含む）、合成オピオイド、およびヘロイン - を含む薬物の過剰摂取による死亡が増加した。死亡者の68%が男性で発生しました（図3）。2016年から2017年にかけて、処方オピオイドに関連する死亡数は変化しておらず（図4）、合成オピオイドを含まない処方オピオイドに関連する死亡についての減少が報告されています。

ヘロイン（図5）、精神刺激薬（図6）、コカイン（図7）を含む過剰摂取による死亡も2017年に増加しました。しかしながら、ヘロインまたはコカインを含む死亡は、これらの薬物と合成オピオイドとの併用を含む死亡によって引き起こされた。精神刺激薬が関与する死亡は、合成オピオイドとの併用による死亡とは無関係に増加しました。

最後の2つのチャートは、ベンゾジアゼピン（図8）または抗うつ薬（図9）に関連する過剰摂取による死亡数を示しています。ベンゾジアゼピンは、2017年に11,537人の死亡に関与しました。これらは、これらの処方薬と任意のオピオイドの併用によって引き起こされました。ベンゾジアゼピンよりはるかに遅い率であるが、抗鬱剤を含む死亡も増加している。ベンゾジアゼピンの場合と同様に、抗うつ薬を含む死亡は主に合成オピオイドを含むものによって引き起こされます。

- [📄 表示/ダウンロード \(PPT、137KB\)](#)
- [📄 薬物過剰摂取データ資料を閲覧/ダウンロード \(XLS、195KB\)](#)

このページは2019年1月に更新されました

NIHは...健康中に、ディスカバリーを回す®

